

青少年国際交流事業事後活動推進大会  
日本青年国際交流機構第31回全国大会  
第22回青少年国際交流全国フォーラム

高知大会 開催案内



1. **日時**： 平成27年8月29日（土）～30日（日）

2. **会場**： 高知市文化プラザ かるぼーと（2F大ホール・高知市立中央公民館9～11F）  
〒780-8529 高知市九反田2番1号 TEL：088-883-5011（代）

3. **テーマ**： 自由人 龍馬に学ぶ グローバルリーダーのすすめ

グローバル化が進み、価値観が多様化する今日、リーダーには変化を恐れずチャレンジしていく精神、英知、そして行動力が求められています。

日本が近代国家への変革期を歩む過程において、高知県は進取の気風に満ちた土地柄から数多くのリーダーを輩出してきました。中でも坂本龍馬の存在は大きく、交渉力を含めたコミュニケーション力、広い世界と時局を見渡す力、有為な人材のネットワークをつくりマネジメントしていく行動力は、多くの人が理想のリーダー像としています。こうした龍馬の生き方や能力を学ぶことは、次世代のリーダーとなる青年たちの大きな糧となり、日本青年国際交流機構が目指す「社会でリーダーシップを発揮できる人材の育成」につながっていくと考えます。

本大会の基調講演は、坂本龍馬記念館館長の森健志郎氏に、龍馬が育った南国土佐の風土や坂本家の家族愛のエピソードを交えながら、龍馬のグローバルリーダーとしての魅力を紹介していただきます。さらに分科会は、皆様にとって学び多き我々独自のプログラムづくりを目指します。

本大会での出会いと学びが、参加者のネットワーク形成とリーダーシップの育成につながるとともに、国際交流活動の活性化と各地域での社会貢献活動に結び付くことをねらいとします。

4. **申込方法・締切日**： 平成27年8月3日（月）（振込日有効）

本大会ではウェブサイトからの申込みを推奨しています。日本青年国際交流機構ウェブサイトより申込みください。http://www.iyeo.or.jp/ja/ \*払込取扱票に全ての項目を記入する申込方法も受け付けます。

5. **有料託児（会場近くの託児所もしくは会場内でのベビーシッター）**

ご希望の方は、申込みの際、通信欄に「有料託児希望」とご明記ください。受領後、申込内容確認のため個別に連絡いたします。\*キャンセルは8月26日（水）まで。それ以降はキャンセル料が発生します。

【日時：8月29日（土）12:30～18:30 / 8月30日（日）8:30～11:30】

① 会場近くの託児所 \*受入人数に限りあり  
場所：高知中央託児所  
〒780-0822 高知市はりまや町1-11-13  
料金：（0歳）1,296円/h、6,480円/day  
（1～2歳）1,080円/h、5,400円/day

②会場内にて「株式会社 ムッターキント」の  
ベビーシッターサービスを利用  
対象：0歳～小学4年生まで  
料金：8:30～9:00、1,800円/h+消費税  
9:00～18:30、1,500円/h+消費税  
\*利用料金の合計金額+シッターの交通費500円

### <高知県実行委員からのお願い>

全国大会（高知大会）の申込みを開始しました。一人でも多くの方が高知県に来て下さることを実行委員一同、願っています。

高知県は、お越しいただくための交通機関や宿泊施設の数に限られていることから、今回は、交通費・宿泊込みのパックツアーでの申込みが可能です。その際の大会参加費は9,000円となります（参加タイプC）。実行委員側でも二つのホテル（ホテル日航高知旭ロイヤル及びコンフォートホテル高知駅前）を用意しておりますので、希望される方は早めにお選びいただき、申込みください。（※部屋数に限りがございます。）

詳細はFacebookページもご確認ください。[www.facebook.com/iyeo.zenkoku31.kochi](http://www.facebook.com/iyeo.zenkoku31.kochi)

6. **分科会** 12の分科会から第3希望までを、申込みの際にご記入ください。定員に応じて、人数調整をいたしますことをご了承ください。

## 分科会 A

### 人生が輝く一人でもできる国際交流

～人生の舞台は立体スクリーン（地球）だ～

海外サイクリングやアフリカ・マラウイでのボランティア体験から学んだ国際交流の醍醐味を紹介。青春は、遠回り、寄り道、失敗の連続。しかし、国際交流は、必ず人生を豊かにしてくれる。今できなくてもいつか実現したい、「人生が輝く一人でもできる国際交流」を語り合います。

<講師&ファシリテーター>



①北村 太郎 (Kitamura Taro)  
サイクリスト / 自動車メーカー勤務  
(東京都在住)

高校卒業後、アメリカ留学。ニューヨーク州立大学在学中に中国安徽省南部一周 (600km)、アメリカ大陸横断 (5,000km) サイクリング達成。第37回「東南アジア青年の船」事業 (平成22年度) に参加。翌年、同事業の友人を訪ねシンガポールからラオス (2,000km) を走破。

②西村 梓 (Nishimura Azusa)

JICA 青年海外協力隊 06  
(シンガポール在住)

第19回「世界青年の船」事業 (平成18年度) に参加。帰国後2年間、高知県 IYEO 会長。公益法人日韓文化交流基金 日本大学生訪韓研修団員として訪韓。2010年 JICA 青年海外協力隊員としてマラウイの青少年事務局に勤務。2013年からシンガポールにて日系企業勤務。



## 分科会 B

### スペシャル・ミールの基礎知識

～作って、食べて、考えよう～

★研修食材費：500円

アフリカや大洋州、アジア諸国等約40か国から JICA 技術研修事業や内閣府青年国際交流事業に参加した外国参加青年を受け入れたノウハウから、「宗教や食事制限を有するゲストのおもてなしポイント」を紹介。参加者は、調理室で家庭で簡単にできるベジタリアン食の調理に挑戦します。

<講師&ファシリテーター>



山中 茂 (Yamanaka Shigeru)  
高知県 IYEO 副会長兼事務局長  
高知希望工程基金会事務局長  
(高知県在住)

第16回日本・中国青年親善交流事業 (平成6年度) に参加し、北京、内モンゴル、武漢、上海を訪問。高知県 IYEO 会長、高知ラオス会幹事を経て、1999年から高知希望工程基金会事務局長として中国 (安徽省・青海省) での希望小学校建設や図書寄贈等の教育支援のほか、小学生から大学生を引率し中国農村部へのスタディツアーを実施する。

2000年からアジア7か国、大洋州8か国、アフリカ19か国から JICA プログラムの研修生を受け入れ、モルディブやカンボジアを訪問し教育や医療支援を行う。

## 分科会 C

### 国際支援と人生の選択

～最良の人生の選択とは何かを考えよう～

ライフワークとして選択した国際支援活動。「NPO 法人 虹の種」理事長としてタイ・サンクラブりに設立した「虹の学校 (児童養護施設兼学校)」では、子供たちが自分らしく生き生きと過ごしています。そこにある自然や生活の営みを大切にしながら、自分たちにできる支援とは何か。虹の学校の様子から、自然と調和し循環する生き方を学び、あなたがさらに輝く「光の種」を一緒に見つけます。

<講師>



玉城 秀大 (Tamaki Hidehiro)  
NPO 法人 虹の種 理事長  
(NPO 法人 輝くいのちより名称を改称中)  
(高知県在住)

勉強も運動も苦手。おまけに病弱。そんな子供がボクシングと出会い、自信をつけ、いつしか単身中国へ。レストランを開くなどして5年間生活。帰国後、縁あって高法寺住職に。同時に酵素玄米食を提供する「しあわせカフェ 光の種」も経営。健康と輝きのある生活を提案する。

その他、座禅断食会の開催、フェアトレードの普及活動、人がその人らしく生きるための気付きの講座、食や環境・国際協力をテーマとした講演活動を含め、人と人とが「つながり、つながる」幅広い活動を展開している。

## 分科会 D

### カリングガ村の長老会議

～国際支援をテーマに

国際協力のありかたを考える～

国際支援メニュー A から C の優先順位は、どれが一番高い？ ザンビアのカリングガ村 (架空村) の命運に関わる様々な国際支援プログラムについて、村の長老会議のメンバーとして村益を第一に考えながら最良の決断を下していきます。

<講師>



菊地 めぐみ (Kikuchi Megumi)  
アフリカ・ザンビア女性支援活動家  
(チュニジア在住)

財団法人高知県国際交流協会在職中に、第22回日本・中国青年親善交流事業 (平成12年度) に参加し、北京、武漢、南寧、桂林、上海を訪問。帰国後、高知県 IYEO 副会長。一般財団法人日本国際協力センター (JICE) 研修監理員として JICA 技術研修監理業務に従事。

2005年から3年間、ザンビアに滞在。2006年から同国貧困地域の女性支援活動に参加し、2007年からマイクロクレジットグループを立ち上げ、女性の能力向上を目的にビジネスに関するワークショップを開催。帰国後も、毎年同国を訪れ、資金援助やモニタリング等を行っている。

## 分科会 E

### アンパンマンから学ぶ **愛と正義と勇気!**

～やなせ先生が、私たちのアンパンマンです～

高知県出身の「やなせたかし氏」が生み出したアンパンマンと個性豊かなキャラクターたちから、グローバル社会に必要な多文化共生の心を学びます。また、東日本大震災の復興応援ソングとも言われている「アンパンマンのマーチ」をテーマに、アンパンマンの愛と正義と勇気について考えます。

<講師>



仙波 美由記 (Senba Miyuki)  
公益財団法人 やなせたかし記念  
アンパンマンミュージアム振興財団  
事務局長  
(高知県在住)

子供の頃から絵を描くことや美術館に行くことが大好きだったため、「好きな絵に囲まれて仕事がしたい」と学芸員を目指す。日本の大学で学芸員資格を取得後、アメリカ・ボストンのシモンズ・カレッジにてアート・マネジメント学を学ぶ。在米中、ボストン近郊在住のアーティストを支援する NPO 法人ケンブリッジ・アート・アソシエーションでインターンを経験し、「過去に描かれた名画よりも、同じ時代に生きて現役で活動するアーティストと直接関わる仕事がしたい」と考えるようになる。

帰国後、大阪の民間ギャラリー勤務を経て、2003 年から香美市立やなせたかし記念館に勤務。2012 年から現職。

## 分科会 G

### 青少年よ **海外を目指せ!**

～勉強、外国語がダメでも大丈夫。  
人生のチャンスはいくらでもある～

内閣府青年国際交流事業に参加後、ワーキングホリデーや海外留学を体験し、企業の国際部門で働く社会人から、青少年が海外を目指すために必要なチャレンジ精神や勉強方法を学びます。ワークショップでは、日本人の国際化や青少年のキャリアプランについて考えます。

<講師>



古谷 陽介 (Furuya Yosuke)  
ワーキングホリデー (オーストラリア)  
中国安徽大学交換留学経験者  
(東京都在住)

高校卒業後、大手製薬会社に勤務。海外で自分の可能性に挑戦したいと、2 年後大学に進学。大学 2 年の夏、フェアトレード活動としてフィリピンを訪問。第 22 回「世界青年の船」事業 (平成 21 年度) に参加した友人のブログ「人生これを超える 40 日はない」を見て、第 23 回「世界青年の船」事業 (平成 22 年度) に参加。ソロモン諸島、フィジー、オーストラリア、バヌアツ共和国を訪問。2012 年からオーストラリアで農場の収穫作業員や鮮魚卸売会社のセールスドライバーをしながら 1 年間滞在。2013 年 9 月から半年間、交換留学生として中国安徽大学で学ぶ。2015 年 4 月から東京都内のメーカー勤務。

## 分科会 F

### 持続可能な開発のための教育

The Education for Sustainable Development

★教材費: 300 円/ ★持ち物: 工作用の「はさみ」

日本が国連に提唱した「ESD の 10 年 (2005~2014)」の取組を振り返り、「どんな未来を築いていきたいのか」(My ESD for the future we want)、「バナナペーパー」や「ESD リレー刺繍」等のワークショップを通して語り合いながら、表現を共有していきます。

<講師>



竹内 よし子 (Takeuchi Yoshiko)  
NPO 法人えひめグローバルネットワーク  
(EGN) 代表  
(愛媛県在住)

1998 年、愛媛と世界がつながる拠点組織を目指して、えひめグローバルネットワークを立ち上げ、「グローバルな視点を持って、地域に根ざす」という視点からモザンビークでの地域開発活動やフェアトレード事業など四つの事業(「国際協力事業」「環境保全事業」「ESD(持続可能な開発のための教育)事業」「ネットワーク事業」)を柱とする「持続可能な社会の実現に向けた様々な活動」を展開する。2004 年から SNN(四国 NGO ネットワーク)代表、2008 年から NGO 相談員(外務省 NGO 活動環境整備事業)のほか、認定 NPO 法人「ESD の 10 年」推進会議理事を務める。

## 分科会 H

### 地球で見つけた **いろいろな 幸せのカタチ!**

～地球上にあるいろいろな幸せのカタチから学び、  
人々を幸福に導く人になりましょう!～

NGO (高知希望工程基金会) で活躍する講師が、グローバル社会の中で見つけた「いろいろな幸せのカタチ」を紹介。ワークショップでは、自分の人生での経験を語らいながら、幸福度の高いライフスタイルとは何かを考えます。

<講師>



前田 真見 (Maeda Masami)  
高知希望工程基金会スタッフ  
(大阪府在住)

台湾出身。小学生の時から両親が主宰する高知希望工程基金会のスタッフとして、中国とモルディブを訪問。高 1 からオーストラリアの私立高校に 1 年間留学。大学では江戸の出版文化と日本語を学び、卒業後、高知希望工程基金会スタッフとして中国とインドネシアを訪問。翌年 1~3 月、第 23 回「世界青年の船」事業 (平成 22 年度) に参加し、ソロモン諸島、フィジー、オーストラリア、バヌアツ共和国を訪問。また、幼少から台湾とカナダの親戚を訪ねる中で、様々な幸せのカタチを考えるようになる。

東日本大震災の中、必死に生きる日本人に感動して就労を決意。大阪府主催の中小企業ビジネス支援センター事業を経て、社会人となる。

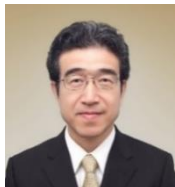
## 分科会 I

### グローバルリーダー育成のクエスト

～ある日突然届いた奇想天外な手紙。あなたならどう答える？～

教育 NGO が開発教育や海外日本語教育の研修ツールとして独自に開発した「自己発見のクエスト」を体験。「標準回答」のない問題にインスピレーションで回答しながら、自己の「思考プロセス」を発見し、グローバルリーダーとしての豊かな発想力と柔軟な思考力を養います。

<講師>



前田 正也 (Maeda Masaya)  
高知大会実行委員長  
高知希望工程基金会会長  
(高知県在住)

第 14 回「青年の船」事業 (昭和 53 年度) に参加し、シンガポール、ビルマ、インド、スリランカを訪問。1986 年から 1990 年、台湾留学・大学日本語講師。帰国後、中国帰国者支援活動、(財)高知県国際交流協会マネージャー、学校法人高知中央高校校長を経て、2009 年 4 月から高知大学講師 (医学部非常勤)。1997 年から高知希望工程基金会 (教育 NGO) を主宰し、開発途上国において小学校危険校舎の再建や修復、貧困家庭児童の就学支援や図書寄贈等の教育支援のほか、2000 年から JICA 研修生 (34 か国) の受入れを行う。

## 分科会 J

### 青少年リーダー育成のクエスト

～私は、あなたは、隣の人はどうな人？  
みんなで自己発見の旅に出よう～

教育 NGO が開発教育や海外日本語教育の研修ツールとして独自に開発した「自己発見のクエスト」のジュニア版を体験。中、高、大学生をはじめ、青少年に対して指導的な役割を果たす方にも、新しい視点や考え方を与える内容のワークショップを行います。

<講師>



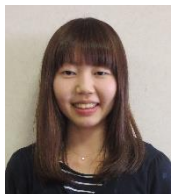
北村 綾 (Kitamura Aya)  
国際 NGO ボランティア活動経験者  
(東京都在住)

中高生の時に海外 (アメリカ、オーストラリア、韓国) 派遣事業に参加。大学 1 年の夏、NGO 主催のスタディツアーに参加し、上海、安徽省、北京、青海省を訪問。大学教養課程終了後、青海省西寧市教育委員会の招へいを受け、2003 年から教育 NGO (高知希望工程基金会) のスタッフとして 2 年間ボランティア活動を行う。2005 年、公益法人日韓文化交流基金主催の日本大学生訪韓研修団員として訪韓。同年、第 33 回「東南アジア青年の船」事業 (平成 18 年度) に参加し、マレーシア、ブルネイ、シンガポール、インドネシア、フィリピンを訪問。2007 年から大学職員として留学生の受入れなど国際交流プログラムを担当する。

## 分科会 K

### 青少年参加型啓発プログラムを創るには

グローバル社会における青少年リーダーの育成を目的とした国際交流啓発プログラムにおいて求められる「国際交流の基本とは何か」を考え、「自らが企画・運営するために必要なこと」について各自の経験を共有し、話し合います。※内閣府青年国際交流事業だけでなく、大規模なプログラムの運営にリーダーとして携わりたいと考える人を対象 <ファシリテーター>



浮田 恵里 (Ukita Eri)  
愛媛県 IYEO 事務局長  
(愛媛県在住)

中学 2 年の時、松山市 (旧北条市) の主催する中学生海外派遣事業に参加し、オーストラリアを訪問。英語や海外に興味を持ち、大学では国際関係のコースへ進学。在学中、大学主催の海外研修に参加し、インド、ネパール、中国を訪問。その後、もっと広い世界を知りたいと思い、第 23 回「世界青年の船」事業 (平成 22 年度) に参加し、ソロモン諸島、フィジー、オーストラリア、バヌアツ共和国を訪問。帰国後、愛媛県 IYEO を通して地元愛媛での国際交流に貢献。2013 年 4 月から同事務局長。2015 年 4 月 12 日、松山市コムズで IYEO 全国大会 (高知大会) の研修を愛媛県西条高校の生徒を招いて愛媛県・高知県 IYEO が合同で開催した。

## 分科会 L

### 龍馬の古里探訪ツアー

～自由人 坂本龍馬の青少年期の足跡とエピソードを再発見！～

ツアー参加費：1,100 円 (実費)

「龍馬の生まれたまち記念館」を参観し、龍馬が生まれてから脱藩するまでの様々なシーンを龍馬の目線で追体験したあと、ガイドの案内で龍馬の生誕地や龍馬が剣術修行に通った日根野道場跡、亀山社中のメンバーだった近藤長次郎邸跡等を巡ります。

<現地ガイド>



NPO 法人 土佐観光  
ガイドボランティア協会

当協会は、「あったか高知・おもてなしの心」をモットーに、お客様の思い出に残る観光のお手伝いをしています。

ツアーリーダー

富田 哲郎 (Tomita Tetsuro)  
IYEO 高知大会実行委員  
(プログラム管理担当)  
(東京都在住)



## 7. プログラム

【1日目・8月29日(土)】

12:30 受付  
13:30 開会式  
14:00 基調講演  
「自由人 龍馬に学ぶ グローバルリーダーのすすめ」  
講演者 高知県立坂本龍馬記念館館長  
森 健志郎(もり けんしろう)氏  
15:30 分科会 12の分科会を設定  
18:10 各自のホテルにてチェックイン  
19:00 懇親会(ホテル日航高知旭ロイヤル)

【2日目・8月30日(日)】

6:30 早朝ウォーキング(任意参加)  
9:00 日本青年国際交流機構 表彰式  
9:30 各都道府県及び個人の事後活動紹介  
10:00 パネルディスカッション  
11:00-11:15 閉会式  
\*閉会式後、希望者は地域理解研修に参加できます。

## 8. 地域理解研修

高知の魅力をギュギュッと凝縮した散策コースと、分科会テーマに関連した施設を見学するコースを二つの合計三つの研修コースを用意しました(貸切バス利用)。お帰りの時間やご予約に合わせてご参加ください。参加を希望される方は、申込みの際にご記入ください。皆様のご参加をお待ちしています。

### ① <土佐城下町散策コース> 参加費：現地で各自支払い

「高知城」、「日曜市」、「よさこい」の三つを体験するコースです。大会実行委員が工夫を凝らした観光ガイドでおもてなしいたします。

11:30 かるぽーと出発～路面電車(料金200円)にて移動～11:50 ひろめ市場見学(各自で昼食)～13:00 高知城見学(入館料:500円)～14:00 日曜市見学(約1.5Km)～はりまや橋～15:00 高知よさこい情報交流館(入館無料)～16:00 現地解散。

※当コースは、路面電車と徒歩での移動となります。周辺のコインロッカー設備には数に限りがあります。

お手荷物は、宿泊ホテルへのお預けをお勧めします。

※当コースは、随時自由解散です。途中まで参加するもよし、最後まで堪能するもよし、ご予約に合わせてお楽しみください。



### ② <アンパンマンミュージアムコース> 参加費：4,000円(バス代、昼食、入館料込。小学生以下2,000円)

アンパンマンの生みの親、やなせたかし氏が眠る「やなせたかし朴ノ木(ほおのき)公園」とやなせさん直筆の原画を展示するアンパンマンミュージアムを訪問します。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

11:30 かるぽーと出発(貸切バス)～12:20 やなせたかし朴ノ木公園～13:00 昼食(レストランPUR)～13:40 アンパンマンミュージアム～15:15 高知龍馬空港へ移動～15:45 高知龍馬空港～16:30 はりまや橋～16:40 JR 高知駅。

※「詩とメルヘン絵本館」参観共通チケット付き。

※昼食は、こちらで手配します(お子様メニューもご用意できます)。食事制限(アレルギー、宗教など)がある方は申込みの際に通信欄にご記入ください。できる限り対応いたします。

### ③ <坂本龍馬記念館コース> 参加費：4,000円(バス代、昼食、入館料込。小学生以下2,000円)

桂浜にある坂本龍馬記念館と龍馬像を訪問します。お笑い芸人 バイキングがNHK番組「ファミリー トレジャーハンティング」の撮影中に大発見した龍馬暗殺の直前に書かれたという後藤象二郎宛直筆書簡(複製)をはじめ、数多くの龍馬ゆかりの展示物がご覧いただけます。



11:30 かるぽーと出発(貸切バス)～12:00 昼食(桂浜荘)～12:45 坂本龍馬記念館・坂本龍馬の銅像見学～15:15 高知龍馬空港へ移動～15:45 高知龍馬空港～16:30 はりまや橋～16:40 JR 高知駅 ※昼食は、こちらで手配いたします(お子様メニュー、小学生メニューもご用意できます)。なお、食事制限(アレルギー、宗教など)がある方は申込みの際に通信欄にご記入ください。できる限り対応いたします。

## 9. 大会会場へのアクセス

大会会場：高知市文化プラザかるぽーと 〒780-8529 高知市九反田2番1号  
TEL：088-883-5011 (代) <http://www.culport.jp>

### I. 高知龍馬空港から

高知龍馬空港連絡バスを利用（約35分）

「高知駅行き」または「県庁前行き」に乗車。「はりまや橋（観光バスターミナル）」で下車。

徒歩で約1分（東へ約50m）

※空港連絡バスは航空機到着にあわせて出発します（大幅な遅延の場合には、定刻に出発します）。

バス乗車料金：片道720円。往復券（2枚綴り）1,340円（バス停留所の券売機で購入します）

※運行バス会社は2社ありますが、どちらのバスに乗車してもかまいません。料金は同額です。

（参考：高知龍馬空港フロアガイド <http://www.kochiap.co.jp/floor/1f/>）

### II. JR高知駅から

①徒歩で約16分（南へ約1,300m）

②路面電車で約7分

JR高知駅前に停車している路面電車に乗車。はりまや橋で下車。徒歩で約5分（東へ450m）

料金200円（市内均一）

### III. 高速バスを利用

「はりまや橋（観光バスターミナル）」で下車。徒歩で約1分（東へ約50m）

### IV. 自家用車を利用

高知インター出口から約10分

①インター出口180m先の分岐を右手方向（高知市街・高知城方面）へ（右下写真）

②国道56号線を道なりに南進。「中宝永町交差点」を右折（国道32号線に入る）

③約750m西進して「はりまや町1丁目交差点」を左折。



※なお、大会会場には有料の地下駐車場があります。

○200台収容可

○営業時間：8:30～22:00